

東京パラリンピックに関する墨東病院の対応について

本日、当院がパラリンピック開催に際して、大会組織委員会からの重症患者等の救急搬送受入要請を断ったとの記事がありました。

当院は、現在の新型コロナウイルス感染症の状況の中、区東部地域の基幹病院として、新型コロナウイルス対応を最優先に行いながら、救命救急センターを運営し、重症患者等を受入れ、診療を行っております。

パラリンピック大会開催期間において、競技会場において重傷事故が発生した場合においても、大会組織委員会との覚書に基づき、重症度と緊急度に応じて大会関係者の入院を受入れることとしております。

引き続き、救命センターを開設する地域の基幹病院としての役割を適切に果たして参ります。

令和3年8月20日 墨東病院院長 足立 健介